

人口減少対策調査特別委員会 会議記録

- 1 期 日 令和8年3月24日（火）
午前9時24分 開会
午前10時20分 閉会
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席委員 委員長 西田 真
副委員長 荒木 慎太郎
委員 太田 智博、芹澤 正志、
竹中 理、福田 嗣久、
森垣 康平
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 (別紙のとおり)
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主事 菅谷祐一
- 8 会議に付した事件 (別紙のとおり)

人口減少対策調査特別委員長

西田 真

人口減少対策調査特別委員会 次第

日 時：2026年3月24日(火) 9:30～

場 所：第1委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 結婚支援事業について

【くらし創造部】 地域づくり課

(2) 委員会の運営方針について

委員会重点調査事項

(3) その他

4 閉 会

人口減少対策調査特別委員会名簿

＝出席不要もしくは欠席

【委員】

2026年3月24日現在

職名	氏名
委員長	西田 真
副委員長	荒木 慎太郎
委員	太田 智博
委員	芹澤 正志
委員	竹中 理
委員	福田 嗣久
委員	森垣 康平

7名

【当局】

職名	氏名
市長公室長	谷口 雄彦
経営企画課長	真狩 直哉
くらし創造部長	谷岡 慎一
地域づくり課長	宮田 裕史
こども未来部長	小野 弘順
こども未来部次長 兼こども支援課長	吉本 努
こども未来課長	若森 和歌子
こども未来課参事	丸谷 祐二
コウノトリ共生部次長 兼環境経済課長	瀬崎 晃久

2名

【議会事務局】

職名	氏名
議会事務局主事	菅谷 祐一

人口減少対策調査特別委員会設置要綱

- 1 設置の目的
豊岡市の人口減少に関する諸課題等を調査するため、地方自治法第109条及び豊岡市議会委員会条例第5条の規定に基づき、特別委員会を設置する。
- 2 委員会の名称
人口減少対策調査特別委員会
- 3 委員の定数
7名
- 4 付議事件
移住・定住促進、子育て支援、産業振興などに関する調査研究等
- 5 委員会の設置期間
調査完了の時期まで
- 6 調査の経費
議会費の中で議長の定める額
- 7 その他
設置期間中、議会の閉会中も継続調査できるものとする。

人口減少対策調査特別委員会重点調査事項（案）

2026. 3. 24

- 1 移住・定住促進に関する事項
- 2 結婚支援・子育て支援に関する事項
- 3 産業振興等に関する事項

午前9時24分開会

○委員長（西田 真） おはようございます。

定刻前でありますけど、皆さんおそろいでありますので、ただいまから人口減少対策調査特別委員会を開会させていただきます。

寒い冬もやっと春らしくなってきましたし、桜のつぼみもぽつぽつ、そういう声も聞こえてきますし、そういう時期になったかなと、春が待ち遠しかったんですけど、やっとそういう時期になったかなと思っております。これから桜の花見とかいろいろありますけど、転勤の時期でもありますし、歓送迎会の時期でもありますけど、こういう時期でありますけど、これから特別委員会を開会したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

早速でありますけど、3番目の協議事項に入らせていただきます。

まず、結婚支援の現状についてということであります。

協議事項に入ります前に連絡させていただきます。

委員会中の発言につきましては、必ず委員長の指名を受けてから、マイクを使用し、発言の最初に課名と名字をお願いいたします。

それでは、協議事項に入らせていただきます。

今回の委員会は、前回委員会で結婚支援についてもう少し調査を深めるということで意見がまとまりましたので、協議事項は結婚支援1項目に絞っております。早速ですけど、結婚支援の現状についてを議題といたします。

委員の皆さんはSideBooks上のフォルダー、人口減少対策調査特別委員会2026、3・24の中に配信しております資料をご覧くださいと思います。

○副委員長（荒木慎太郎） すみません、時間にまだ来てないんで、おのおので開いてください、おのおのです。配信できませんので。

○委員長（西田 真） 分かりました。

それでは、地域づくり課、説明をお願いいたします。

くらし創造部地域づくり課、宮田課長、よろしくお願ひします。

○地域づくり課長（宮田 裕史） おはようございます。

改めまして、委員会出席に当たりまして、ネクタイちょっと失念いたしまして、申し訳ございませんでした。以後気をつけます。よろしくお願ひいたします。

それでは、着座の上、ご説明させていただきたいと思ひます。

それでは、既に配付させていただいておりますが、現在の取組状況について、パワーポイント資料に従いましてご説明させていただけたらと思ひております。右下のほうにページ数打っておりますので、ページ数等を踏まえながらご説明をさせていただけたらと思ひております。

まず1ページからですが、地域づくり課におきましては、人口減少対策としまして、結婚を海というような、ゴールに見立てたイメージをつくっております。川上から川下まで各種事業を行っているところでございます。川上におきましては、まだ結婚を意識していないような若者世代を対象といたしまして若者事業などを行ひまして、若者世代のつながりづくりや出会いの場づくりなどを促進しているという状況でございます。それ以外にも、25歳同窓会の開催支援や、先日、中学生が中心となって企画、実施しましたスイーツ祭がございましたが、こういった実現に向けまして相談や運営協力に応じるなど、豊岡においては若者がやりたいようなことを応援してくれるようなまちだというふうに感じていただけるようなまちにしていけたらなと。またそして、一度は都会に出たといひしましても、豊岡に帰ってチャレンジしていきたいとか、また、帰ってきてくれなくても、ふるさと豊岡への愛着を持ってもらえるような取組をしているところでございます。

川中におきましては、結婚の手前の恋人づくりのような支援ということで、はーとピーという事業を行っております。

そして川下におきましては、具体的に結婚をイメージして、結婚を前提にお付き合いを始めるような相手探しの場といたしまして、縁むすびさん事業を行っているところでございます。

具体的な事業の内容につきまして2ページのほうでご説明させていただきたいと思いますが、まずは一とピーでございます。これは全ての若い方を対象としているということで、ホームページやフリーペーパーなどを使って開催案内などを行っているところでございます。ただ、参加を希望する段階におきましては、公式LINEへの登録が必要となっております。イベントに当たりますと、会場や狙いに応じて、1回8人前後の男女同数となるような参加者を募りながら会費を頂きまして、食事やゲームなどをしながら、会計年度職員になりますが、マリッジアドバイザーという職員でありますとか、市民サポーターの方々がお話を盛り上げながら交流していくというふうな形で時間を楽しく過ごしているところでございます。イベントの最後に、あのねカードとありますが、自分の名前やLINEアカウントなどの連絡先を書いたカードを用意させていただいておりますが、それにそれぞれがイベントの間で気に入った方の番号をそのカードに書いてもらい、事務局に提出していただきます。事務局がそれを預かりまして、マッチングできた数などを集計した後に、参加者ごとに分けて封筒に入れて、その方それぞれにお渡しするという状況になっております。ご自身の気に入った方から連絡先のあのねカードが入っていればその方に連絡を取るとか、なかったけれども連絡先をもらった人の中に気になる方がいるということであればその方に連絡を取るなど、イベント終了後はあのねカード等を基にそれぞれが個人的に連絡を取り合うような仕組みということになっております。

次、3ページになりますが、縁むすびさん事業となります。こちらは1対1での、いわゆるお見合いを希望する方に登録をいただくということで、登録時にプロフィール等を提出していただくということになっております。そのプロフィールを基に、事

務局や市民ボランティアであります縁むすびさんが、この人とこの人出会ってもらったらいいのではないかなというふうな、机上でマッチングをしていただきまして、それぞれにその方のプロフィールをお渡しし、ご本人がその方と会いたいかどうかという意向を確認させていただきます。お互いがその方に会ってみたいということになりますと、事務局のほうで日程や場所等、調整しまして、お見合いを設定するというようになります。このお見合いが終わった後に、そのお見合いの場所では特に返事を伺いませんが、終わった後に事務局が個別に連絡を取りまして、意向を確認しまして、その方が気に入ったかどうか、今後もまた会ってみたいかどうかというふうなことを確認しまして、お互いが引き続き会ってみたいというふうなことになりましたら、その段階で事務局が相手の連絡先を伝え、その後は両方で連絡を取ってもらいながら、お互いの親交を深めてもらうというふうな事業を実施しているところでございます。

これは、豊岡市でやっております縁むすびさん事業以外にも、社会福祉協議会のほうでもHappy marriage事業として事業が実施されてるということがございますので、そちらのお世話役さんの方などとも連絡を取りながらマッチングを行っているという状況でございます。

具体的に、4ページになりますが、そういった事業に登録されている方ということですが、登録者としてはコアターゲットといたしております、おおむね25歳から39歳の方をコアターゲットといたしておりますが、そちらの方々のおおむね1割程度の方に登録をいただいているという状況ではございますが、逆に9割の方には登録等はいただけていないということになっております。

5ページになりますけれども、今までの事業の全体像というのが、分かりやすいかなということで少しまとめさせていただいております。独身者全員を対象にいたしておりますけれども、具体的な事業に参加するためには、それぞれは一とピーの登録、あるいは縁むすびの登録ということが前提となって

まいます。したがって、独身者の中には、はーとピーに登録していただいている方、縁むすびさん事業に登録いただいている方、両方に登録いただいている方、そして、先ほど申し上げたように、登録をされていない方9割というふうな形でございまして、事業の実施に当たりましては、ハートリーフにおりますマリッジアドバイザーと共に、はーとピー事業ではサポーターとして、縁むすびさん事業では縁むすびさんにご協力をいただきながら事業を実施させていただいているという状況でございます。

続きまして、6ページになりますが、成果というふうな形で、今年度の数字にはなりますけれども、縁むすびさんにおきましてはお見合いを332回セッティングさせていただいております。その中でお付き合いに移行した方が170組と、結構お付き合い、引き続き会ってみようということにはなるんですけれども、成婚に至った方は5組という状況でございます。はーとピーの事業におきましては、9回実施いたしまして、カップル成立50組、成婚数は3組ということになっております。

また、市が実施するイベントにおきましては、対象者が少し限定的になってしまうということもございまして、昨年度から飲食店などの皆さんに主催していただきまして、同様の婚活イベントを実施していただいております。その場合は5万円までの補助金を支援して事業実施ということで、先ほど申し上げた登録をいただいてない9割の方なども参加しやすいような、その店の常連さんであるとか、声かけていただけるというふうな形で参加いただく中で実施していただきまして、こちらのカップル成立数は3組ということになっております。そのほかにも魅力アップ講座ということで、服の選び方がありますとか、男性に対しましてもメーキャップの仕方などの自分磨きの講座なども開設しているという状況でございます。

右上にございますが、グラフでございます。こちらご覧いただきましたとおり、市内婚姻数、青色のラインですが、右肩下がりで減少している中で、ハートリーフなどの事業を通じまして成婚につなが

る件数というのは15件前後を確保しております。多い年には市内の婚姻数の約1割が本事業による婚姻であったというときもあるという状況になっております。この成果を上げている理由といたしましては、ほかの多くの自治体ではマッチングイベントなどは実施されておられます。ただ、マッチングイベントなどをされた上でカップル成立して、あとはご自由というふうなケースが多いようにも聞いておりますが、豊岡市は、先ほど来、申し上げているようなマリッジアドバイザーでありますとか市民の方のご協力をいただきながら、成婚に向かったの伴走やデートやプロポーズの指南、相談など、属人的な内容とはなっておりますが、手厚い支援をさせていただきながら支えていっているという状況もあるのかなというふうには感じているところであります。

続きまして、7ページになりますが、参考までといたしまして、過去5年間の実績を計上させていただいているということです。縁むすびさんのところありますように、2023年度の見合い件数が大きく減っています。また、2024年度の成婚件数も減ったりしておりますが、一概にそれが全てという状況ではございませんが、所管が地域づくり課ということになりまして、来ていただく相談窓口が本庁2階となったという影響があったのではないかなというふうにも感じたりはしております。

続きまして、8ページですが、結婚支援事業の取組ということで、先ほど少し申し上げましたように、健康増進課が所管しておりましたが、2023年度に地域づくり課に所管が変わったということで、その際に新たな取組といたしまして、デジタル化を進めまして、事務効率の改善を図ったり、昨年度からは先ほどの飲食店補助金を始めたりしております。

また、9ページになりますが、先ほど少し申し上げたように、本庁の2階に事務所を構えて相談対応をさせていただいておりますが、やはり行きにくいでありますとか、平日には相談に行けないんだというふうなご意見もございましたので、アイティにおきまして隔週の日曜日に相談窓口を試行的に開

設したという状況です。その結果、昨年度から女性の新規登録者が大きく増加するというような成果があったのかなというふうに思っております。また、地域づくり課に移行していく中で、総務省の制度を活用しまして、地域プロジェクトマネージャーを採用しまして、結婚支援事業のさらなる充実に向けまして、検討、取組を進めているところでございます。

10ページになりますが、地域プロジェクトマネージャーのミッションといたしまして、幾つかあるわけなんですけれども、一つは相談体制の強化ということで、先ほど来、申し上げているように、本庁2階では行きにくいということもございまして。そのため、アイティ4階のみらい応援Roomにこの4月から完全移設いたしまして、開設日も、日曜日も常時開けるということで、日曜日から木曜日までとさせていただきます、相談しやすい体制環境をつくっているという状況でございます。ただ、今年度、毎週日曜日開設した結果ではあります、昨年度とあまり差がないということもございまして。また、プロジェクトマネージャーが今はそちらの相談窓口のほうのシフトの一人として従事しておりますが、来年度1年でもういなくなるということもございまして、今後はマリッジアドバイザー2人で回すということを前提といたしましたシフトということで、毎週日曜日から隔週日曜日に戻していけたらなというふうに考えているところでございます。

次に、広域化という課題に対する対応ということで、11ページになりますが、やはり田舎の狭い地域でもありますので、いろいろな婚活イベントで参加していただくに当たりましては、知り合いに会ってしまって嫌な思いをしたりとか、前回会った人と同じような人がまた来ているというふうな、同じような人が参加しているという状況もございまして、出会える異性が限られるなどという課題もあるということから、市内に限らず近隣市町との広域的なイベント開催なども模索してきているところでございます。ただ、但馬のほかの自治体におきましては、豊岡市と一緒に実施するということになりまして、何か豊岡市に全て取られてしまうのではないかと

というような危機感がお持ちなのか、抵抗感が強く、なかなか話が進まなかったという状況にございます。

その中で、京丹後市と12月にプレイベントということで、市職員同士での試行ということにはなりますけれども、婚活イベントの開催にこぎ着けました。男女各6名の参加をする中で3組カップルが成立したという状況にございます。今後は、広く市民の方々の参加による本格的な継続実施に向けまして、調整を進めていきたいなというふうに思っているところであります。

次に、12ページといたしまして、但馬広域圏域でのイベントにつきましても協議を重ねている中で、県のほうに結婚支援コンシェルジュという方がおられまして、こちらのほうからも自治体のほうに声をかけていただく中で、来年度の5月、再来月ですが、こちらで実施することが決まりまして、こういった部分でも着実に取組が進んでいるかなというふうに思っているところであります。

そして、13ページになりますが、冒頭見ていただいた表に、さらに来年度の取組といたしまして、もっと若い人同士が交流できる出会える場というような形で、川上に近いところで合コン企画を実施していきたいなというふうに考えているところであります。こちらにつきましては、企業の方からも若い社員の出会いの場がない、企業同士の合コンが組んでもらえないかなというようなことのご要望があるということから、実施を今、検討しているところでございます。米印の1つ目にありますように、以前、豊岡市でも実施しておりました、企業の窓口となっていた世話役的な方をお願いしながら人を集めていただきまして、セッティングを行っておりましたが、やはりお世話役の方もなかなか結婚という個人の思いに関わることで声もかけにくいというようなこともあったり、また人数を一定数集めていくということがなかなか負担になるということで自然消滅したというふうに聞いております。

したがって、15ページになりますが、来年

度からの実施に当たりましては、企業側のほうには若手社員の方々に公式LINEのほうに登録をしていただくということを中心にご協力をいただきながら、コンパをする際の取りまとめ等はなしにしていけたらなというふうに思っております。登録いただきますと、LINEを活用し、開催の周知を行いまして、あとは職場の知り合いなどと独身自身が声を掛け合いながら参加を申し込んでいただいて、合コンという形で開催につなげられればなというふうなことを考えております。会社側の従来の世話役的な方におきましても、負担を軽減しながら、かつ若い方々の出会いの場の創出、そして職場への定着というような形に繋がっていけばいいのではないかというふうなことをイメージしております。

最後、16ページになりますが、先ほど一度見てもらった絵と同じであります。従来のは一とピー、そして縁むすびさん事業に加えて、このようなオフコン事業というような形で加えていこうというふうに思っておりますが、従来のは一とピーや縁むすびさん事業と異なりまして、あくまでもこれは俗に言うコンパと同様ですので、参加者のみでの懇談というような形をイメージしております。マリッジアドバイザーなどの同席は予定をせず実施していけたらなというふうに思っております。

簡単ではございますが、地域づくり課から現在の結婚政策の現状につきまして、ご説明と代えさせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（西田 真） 説明が終わりました。

質疑、意見等はありませんでしょうか。

太田委員。

○委員（太田 智博） 2点確認させてください。この内容につきましては、私、一般質問の中でも何回かさせていただいて、谷岡部長とも答弁させていただいたと思うんですけど、オフコン、合コンは企業の関係になるんですけど、豊岡市に住民票が無くても、独身であれば登録ができるのかが一つですね。オフコンに限らず、前段で言われた部分についても、住民票が豊岡に無くても登録とかができるのかを教えてくださいたいのが1点と、15ページで、企

業、団体のほうが、企業の独身者にLINEのところにとちょっと登録させるだけが企業のほうの作業になりますけど、この合コンの企画なんかを豊岡市がされて、独身者へ呼びかけをされるんですけど、この呼びかけをするときに、企業側で登録した独身者へも呼びかけがかかるというようなイメージでいいのか、この2点だけ教えていただきたいと思えます。

○委員長（西田 真） 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） ご質問いただきまして、まず1点なんですけど、まず住民票の有無ということで、現在の登録状況が、男性は市民に限らずしていただいておりますが、女性の方は市民だけとなっておりますので、ちょっとそちらの整合性につきましてもありますので、若干もう少し検討を進めていけたらなというふうに思っております。今のところまだ結論は出てないというふうにご理解いただけたらなと思っております。

もう2点なんですけれども、企業、団体のほうに登録いただきまして、イベントの開催案内につきまして、16ページにありますような形で、ちょっとこちらのほうでは説明が十分いってはいないわけなんですけれども、オフコンに当たりましては、ある程度属性を絞っていくような形でのイベント周知というような形も考えていけたらなというふうに思っております。したがって、先ほどお話がありましたように、Aという会社のほうで若手のほうに登録を促していただいて、あと女性のほうはBという会社が促していただいているような会社があれば、AとBのその方々を対象にこのイベントの開催を案内して参加を募るといったような形も可能かなというふうな形で考えているという状況であります。以上です。

○委員長（西田 真） 太田委員。

○委員（太田 智博） ありがとうございます。既に今、5社ぐらいが合同でこういうイベントをされてるんです、民間が。5社ぐらいでされてるんで、また、この場では無くって、違う形等、課長のほうにも相談にお伺いさせていただきたいと思えます

ので、よろしくお願ひしたい思ひますし、やっぱり5社の中でも、女性が地元の方、男性は何かしらこちらに來られてる方が多くて、女性と縁が結びつくことを祈って男性がこちらに移住されるパターンが多いかなと思つてますので、今の話聞いてますと、女性は豊岡の方、男性は住民じゃなくてもいいという何かそういう、今もそんな感じであつてるのかなと思ひますので、女性のほうが男性を引き込む力があるのかなと思つたりもしますので、そういうときにおつた男性が豊岡に住み着くほうがいいと思ひるので、またいろいろ相談をさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

○委員長(西田 真) よろしいですか。

○委員(太田 智博) はい。

○委員長(西田 真) ほかにありませんか。
福田委員。

○委員(福田 嗣久) 感想ですけども、ちょっと感想いうんか、教えていただきたいと思つて。この結婚支援事業でグラフの成婚率は、去年、今年か、おとし、去年で13、14、18、13、14件成立してますよね。青い線が、青いラインが、婚姻数が220、204、193ですから、1割はいつてないですけど、1割と書いてありますけど、どうなんだらう。6、7%はいつてるようなんですけども、かなり高いなと思つて、改めてこれ見させていただきました。

ちょっとお尋ねしたいのは、この成婚率は、18、13、直近でいつと18件、13件、14件ですけども、婚姻数は220、204、193ということですけども、ちょっとよく分かつてないんですけども、婚姻された人の離婚率はどんなもんなのか、その辺が分かつたら教えていただきたいなと。さっぱりイメージが湧かないものですから。

○委員長(西田 真) 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長(宮田 裕史) 離婚率につきましては、ちょっと今、数字を持ち合わせておりませんので、ちょっとまた市民課のほう、窓口から確認しましてまたご提供できたらなと思つております。すみません。

○委員長(西田 真) 福田委員。

○委員(福田 嗣久) 知りたいという意味合ひは、離婚率がどれぐらいあつて、そして今も結婚支援の市がやつておられる、あるいは社協がやつておられる結婚支援を通して成婚が多いという判断をしたんですけども、こういう離婚率と赤グラフの関わりの中で、こういう場数を踏んでいつて結婚された人は離婚せえへんの違ふかなという思ひがあつたものですから聞かせていただいたんです。だから、一般的に誰しも一般に結婚するんですけども、こういう場数を踏んで結婚された人と、離婚率がどんな感じかなと思つて聞かせていただいたんです。分かつたら少し。

○委員長(西田 真) 部長、どうぞ。

○くらし創造部長(谷岡 慎一) すみません、また後で調べたいと思ひますけれども、今、グーグルのAIモードで調べると、1,000人あたり1.55人なので、離婚率でいつと3組に1組が離婚する計算になるということです。非常に高い離婚率ですね。ですけど、これは全国なので、何というんですか、豊岡市の状況分かりませんが、多分そんなに変わらないような気がします。正しくはまた調べてお答えしますけれども。ですので、婚姻数は減つてるし、離婚数は、恐らくはこれは増えているんだらうと思ひますので、そういう中でこの事業が行われていつとすることだと考えてます。以上です。

○委員長(西田 真) 福田委員。

○委員(福田 嗣久) 興味本位で聞いたわけではなしに、そういった全国的あるいは豊岡の離婚率の中でこういった成婚の割合があるということが事実としてあるわけですけども、こういうステップを踏んでいつたら、案外離婚がないんじゃないかなという思ひがあつたから聞かせていただいたということですので、ご理解をいただきたいと思ひます。

それともう一つ、続けてですけども、どこだつたかな、11ページで広域連携の模索ということで、京丹後市との合同イベントというふうに書いてありましたが、どうしても身ばれの不安ちゅうのはやっぱり誰しもあるような気がするんで、

京丹後市との合同イベントなんかもいいんじゃないかということと、それから、その次のページのたじま出逢い日和ですか、これ辺りもやっぱり広げるといふ意味合いは、豊岡市だけでは、さっきちょっとおっしゃったけれども、豊岡市だけが独占するようなイメージがあるというようなことをちょっとおっしゃいましたけど、そういう兵庫県の狭い部分じゃなしに、やっぱり広域で、いい人があったらつながっていくのが正しいことだし、別に男性でも女性でも、ある程度場所を広げて結婚ができれば一番いいんでしょうから、そういう意味で身ばれということをお考えたら、こういった広域化することも、より積極的にやるべきなんだろうなという思いで聞いておりましたので、ちょっとお尋ねしようと思いました。その辺のことは広げていくというふうにさっきおっしゃったんで間違いのないと思いますけれども、多少でも広域化するほうがいいんだろうなという思いがありますので、先ほど太田委員がおっしゃったように、女性が男性を引っ張る、確かにそうだろうなと思って、何かそういった思いがしますので、そういったことを積極的にやっていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひします。

○委員長（西田 真） よろしいか。

○委員（福田 嗣久） それともう一つ。

○委員長（西田 真） どうぞ。

福田委員。

○委員（福田 嗣久） 一番最初だったかな、ちょっと待ってよ、そうそう、未婚率の25歳から29、30から34、35から39、これがコアターゲットという意味ですけども、これ以外にやっぱり見てましたら、40代、50代でどうしても独身の人が非常に目立つ気がするんです。その人は基本的に子供がどうこうと言わなくても、できるだけやっぱり伴侶といいますか、パートナーを見つけていくのがやっぱり人生の設計の中で幸せなんだろうなということと、それから高齢化していく中で、私のように70も過ぎてくると、どうしても助け合いというのが一番大事なんだということで、こういうとこ

ろもターゲットにしたあれも必要なんではないかなと思っておりまして、その辺りはどういうふうにお考えでしょうか、これは質問ですけども。

○委員長（西田 真） 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） ありがとうございます。コアターゲットというような形で色づけはさせていただいておりますが、ちょっとこれ、登録されている方の比率を出すという形の関係でそこを母数とさせていただいておりますが、縁むすびさん事業などにつきましては、40代を過ぎた方におかれましても登録があったりするのは事実でございますので、そういった方々にも目を向けさせていただいております。

また、私どものほうのは一とピーの事業におきましては、主にこのターゲット層ではあるんですけども、民間事業者の方におきまして少し高年齢の方などをターゲットにした、そういった婚活イベント的なことを実施していただいているところもございますので、そういったところも応援していけたらなと思っております。

それとまた若干毛色が違うんではありますけど、先日、離婚歴のある方のコンパというような形で、やはり離婚されてももう一回再スタートを切りたいというような形で、あくまでも離婚をされたということに対して前提であったり理解があるという方をターゲットにしました婚活イベントというか、それもコンパ的なものも実施させていただいたりしまして、いろんな層に向けてのイベントは今後も実施していきたいと思っておりますので、また議員の皆様からもこういったことができないのかということがありましたら、我々にお知恵をいただけたらなと思っております。以上です。

○委員長（西田 真） ぐらし創造部、谷岡部長。

○ぐらし創造部長（谷岡 慎一） 今調べておりまして、これ、令和6年の豊岡市の統計書ですが、婚姻率が令和5年で3.2%、離婚率が1.2%ですので、全体よりちょっと少ない状況のようです。ですから、これを単純に割ると、さっき言った3割ぐらいになるということになります。以上です。

○委員長（西田 真） よろしいか。

○委員（福田 嗣久） 結構です。

○委員長（西田 真） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） ちょっと1点、まず聞きたいんですけど、こういった事業ってコミュニティ事業とすごく相性がいいように僕はずっと思ってるんですけど、特に縁むすびさんとか、新規登録者の掘り起こしみたいなのですかね。そういったようなことというのは、コミュニティと連動して動くみたいなことはちょっとお考えあるんでしょうか。

○委員長（西田 真） 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） 今、委員ご指摘いただきましたとおり、本当に地域におきましても結婚施策、若い人たちの独身問題というのが課題であるということで、取り組んでいただきたいというふうには思っておりますけれども、あくまでもコミュニティ施策というのは、地域での課題を地域が解決していくということで、全てのところでやりなさいというような形はなかなかいかないところがございますが、機会があるごとにそういったことも問題ですよという話もさせていただいております。その中で、あるコミュニティにおきましては、婚活事業などの取組をされたりしてるところもあつたりしますので、そういったところに対しての応援でありますとかノウハウとか、協力できることは、当然同じ課の中でありますので、取り組んでいけたらなというふうに思っております。

ただ、繰り返しになりますけれども、主体につきましてはコミュニティ組織の皆さんかなというふうに思っておりますので、若干押しつけということではできてない、してないんで、少し弱い部分があるのかなというふうには反省はしております。以上です。

○委員長（西田 真） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） イベント自体をどうこうより、まず掘り起こしという部分で特にちょっとミッションではないですけど、できることはお願いしますというのは、多分喜んでしてくれるコミュニティ多いと思いますんで、積極的に縁むすびさんに登録してください。何なら仲人さんのようなポジションの人も

登録してくださいというのをコミュニティに積極的に流すというの、僕大事だと思うので、ぜひその辺はしていただきたいなと思います。

それと、先ほどの最後の但馬広域でっていう話なんですけど、やはり但馬の中で考えますと、豊岡、恐らく最終的には住む居住地に選ばれる可能性はすごく高い、ほっといたら、高い地域だと思うので、もう積極的にほかのまちと、うち、豊岡市が損だからなんて考えずに、多分どンドンやって、最終的にはうちが選ばれる可能性は恐らく高いと思うので、ぜひ広域的に、但馬や京丹後やその辺とは組んでやっていただきたいなと思います。これは意見です。以上です。

○委員長（西田 真） 何か答弁ありましたら。

地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） 私どもといたしましても、今、委員ご指摘のとおり、掘り起こしのほうもしっかり、確かにそのとおりですので、コミュニティのほうに働きかけてしていけたらなというふうに思っておりますし、広域的な開催イベントのほうにつきましても実施していけたらな思っております。ただ、これにつきましては、重ねてにはなってくるんですけども、やはりほかの自治体におきましては、豊岡市さんとイベントすると、どうせ最後は豊岡市さんに取られちゃうからなみたいなことがあつたり、特に、少し先ほど属人的な支援、マンパワーでフォローもしてるというふうな話もさせていただいたんですけども、やはりほかの自治体におきましては、結婚イベントの実施に当たってもどこか民間の外部に委託して実施したりとかいう形、なかなかカップルになったからといっても伴走支援もできないというふうな、本当に少ない人数でやっておられる自治体が多いということもありまして、ますます少し警戒感を持たれてるということもありますので、今回、広域イベント、豊岡で、これは開催経験があるということでさせていただいておりますけれども、次回以降は持ち回りで各自治体を回っていきながら、しっかりとやっていけたらなというふうに思っております。以上です。

○委員長（西田 真） よろしいか。

○委員（森垣 康平） よろしく願います。

○委員長（西田 真） ほかにありませんか。

荒木副委員長。

○委員（荒木慎太郎） 結婚のイベントと違ってやっぱり行くのにちょっとハードルが高くなってお考えの若い方も多かなと思ってます。川上から川中、川下という中で、やっぱり同窓会とかの位置づけというのは、参加自体はすごいハードルは低いと思うんです。なったときに、今年度も25歳同窓会開催されましたけれども、来年度以降も開催する予定があるのか、そこら辺のお考えをお聞かせください。

○委員長（西田 真） 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） ただいま荒木委員からもお話しいただきましたように、今回の25歳同窓会につきましては、本当に荒木委員にご協力いただきながら、本当に大盛況のうちにイベントも終わったかなと思っております。ぜひこういったものも続いてほしいなというふうに思ったりしておりますが、市として今のところ、積極的にそこを市が主催して開催するというふうなことは考えてないということで、先ほど申しあげましたスイーツ祭につきましても、実行委員の皆さんがやるんで、協力してもらえないかという部分があれば協力できる範囲でしていきながら、皆さんのやりたいを応援していけたらなと思っておりますが、25歳同窓会等におきましても、来年度25歳になる方がやっていきたいということであれば協力という形になりますし、ぜひそうしてもらえようようにしっかりと私たちの集いの実行委員会のメンバー等、5年後にもこんなことをやってたよということは伝えていく中で、実行委員の皆さんを中心として、どう開催について考えられるかというところかなと思ったりしております。今のところはそのような状況かなというふうなことです。以上です。

○委員長（西田 真） 荒木副委員長。

○委員（荒木慎太郎） そのとおりで、市が主催する必要はないと思うんです。やっぱり若い子たちが実行委員会開いて、そこに市が随伴するような形でい

いかなと思うんですけども、やっぱり公共施設の提供であつたりとか、できることをしてほしいなと思うんですけども、例えば裾野、例えば今回であれば稽古堂で開催されましたけど、場所も提供するとかそういった情報発信を今後されていく予定はあるか。多分そこがないと実行委員も立ち上がりにくいかなと思うんですけども、お考えどうでしょうか。

○委員長（西田 真） 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） 現在、本当にご指摘のとおり、豊岡市に協力を求めたら何があるのかなというところが市民の方にも分からないところかなと思ったりしますので、そこら辺を、たまたま声をかけてもらった団体だけに対して支援してる状況ですので、どういうふうな形で市民の方、広く周知していくのかというのは、少し課題とさせてお預かりできたらなと思っております。

○委員長（西田 真） 荒木副委員長。

○委員（荒木慎太郎） ぜひ、そんなに市民へも負担がかかることではないと思いますので、しっかりかなり検討していただきまして、今後頑張ってください。以上です。

○委員長（西田 真） よろしいか。

○委員（荒木慎太郎） はい。

○委員長（西田 真） ほかにありませんか。

芹澤委員、どうぞ。

○委員（芹澤 正志） たくさんいろいろとされているので、いろんなことをまだまだ模索できるのかなと。例えば大バーベキュー大会だとか、スポーツイベントに絡めて集めて、何かスポーツを楽しむながら知り合う機会を増やすだとか、まだ漠然としてますけども、何かそういう新たな取組も今後いろいろとちょっと一緒になって考えていければなと思います。

○委員長（西田 真） 答弁があれば。

地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） 大バーベキュー大会はどうかと、まだちょっと私の想定外だったんですけども、スポーツイベントという点でいきますと、

全国市町村レガッタの予選となります円山川レガッタとかあいった参加者募集してるイベントとかがあったりしますので、そういった部分に独身者の方で手挙げ方式みたいな形で参加できたり、やはり何か共同の作業をすることによって交流も深まっていくという、昔のオーソドックスな出会いの場かなと思ったりするので、そういった部分につきましても取り組んでいけたらなというふうには、今後の課題としては思ってる、認識してるという状況でありますので、また今後、相談に乗っていただけたらなと思っております。よろしくお願ひいたします。

○委員長(西田 真) 芹澤委員、よろしいですか。

○委員(芹澤 正志) はい。

○委員長(西田 真) 福田委員。

○委員(福田 嗣久) ちょっと確認だけですけれども、建築住宅課の空き家の関係は4月からそっちに行くんですね。それでよろしいか。

○委員長(西田 真) 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長(宮田 裕史) 今、委員ご指摘いただきましたとおり、4月から空き家対策室の地域づくり課に設置されます。その中で、従来、建築住宅課が持っておりました危険空き家等の空き家施策が全てというか、ほぼほぼ来ます。一部、耐震化の診断、この部分につきましては空き家に限らない全ての建物ですので、それは建築住宅課に残りますけれども、それ以外につきましては、基本、地域づくり課に来るという中で、従来、移住施策でありました地域づくり課と空き家の危険空き家でありました建築住宅課の間で、まだ使えるんだけど何かどっちつかずの空き家というのたくさんありましたので、そういった部分につきましてはしっかりと地域づくり課に来て、空き家施策全体という事業推進に当たってはフォローしていけたらなというふうに思っているところです。以上です。

○委員(福田 嗣久) 分かりました。ありがとうございます。

○委員長(西田 真) 竹中委員、どうぞ。

○委員(竹中 理) じゃあ、1つだけ。さっきお聞きしようと思ったら言われたんであれですけど、

離婚歴のある方のマッチングっていうか、お互い共通のあれがあるのでマッチングしやすいと思うんですけど、今後早々に広げられるような、そういう特化したようなこととか、あと高齢者というか、50代ぐらいの方の対象とか広げるような、そういうことは考えておられるかどうか。

○委員長(西田 真) 地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長(宮田 裕史) 今ご指摘いただきましたように、離婚歴のある方っていうのは今回4、4で募集させていただいて、2組、一応また引き続きお会いしようかというふうなことで聞いておりますので、非常に成果があったのかなと思ったりしてますので、そういったニーズも踏まえながら取り組んでいけたらなというふうに思っております。ただ、あくまでも我々としては、ちょっと高齢者というか少し年齢が高いというところにつきましては縁むすびさん事業を中心としてやっていくというような形かなと思っておりますが、今後全体的に高齢化というか、も進んでおりますので、独身の高齢者の方も増えてますので、そういったニーズがあれば的確に対応していけたらなというふうに思っております。

また、若干話がそれではしまうんですけども、やはり豊岡市におきまして多くの海外の方も来られて、技能実習生として来られてます。そういった方々ともぜひマッチングしていくことで、やはり非常に豊岡にとっても大きな戦力にもなっておられますので、その方が引き続き安心して豊岡に残れるということも大事なのかなというふうに課題としては思っておりますが、ただ、外国の方、国際結婚というのは非常にハードルが高い。また、結婚してからもなかなかやはり文化の違いという部分があって、お付き合いが難しいということもあつたりしますので、もう少しまだまだ検討する余地ありますけれども、どんなようなことも排除することなく、先ほどと少し重なるかもしれませんが、やはり結婚して豊岡に残っていただけて、子供さんつくって産み育てていただくというのがベストではありますけれども、ベストにはならなくても、やはり結婚し

たいんだということが、せめてそこは実現できるような形で、一人でも多くの方のそういった夢の実現にどうしたら取り組めるのかという部分は絶え間なく検討していけたらなというふうに思っております。以上です。

○委員長（西田 真） 竹中委員。

○委員（竹中 理） ありがとうございます。アプリなんかでもそういう離婚歴のある方だけのコミュニティみたいなのもあって、すごくはやってるようなことは聞いてますし、さっき言われました外国人のもまたこれからいろいろ研究していただいて、また広げていただけたらと思います。以上です。

○委員長（西田 真） よろしいでしょうか。

○委員（竹中 理） はい。

○委員長（西田 真） ほかにありませんか。

私からちょっと1点だけ。縁むすびさんは地域全般におられるんですかね。そして、縁むすびさんはずっと更新もされていっておられると思うんですけど、経年的にいきますか、人数はどういうふうな推移になってますか。

地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） 人数といたしましては、ちょっと幽霊会員さんみたいな方がおられて、ちょっと今リセットしたところで、変化という形では比較する数字がないんですけども、やはりなかなかお世話してやろうかという方も減ってきているのかなと。やはり難しい時代になってますので、そういったお世話していただける方が減ってるというところはございますので、しっかりと今の縁むすびさんのお友達なども含めて、増やしていけたらなというふうには思っておりますが、若干、比較できる数字はないですけども、減ってるのかなというのが肌感覚として持たせていただけてるという状況です。以上です。

○委員長（西田 真） 地域的にはどうですか、全体的なバランス的にも。

地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） その質問に答えてなくて申し訳なかったです。地域バランスにつつま

しては、若干、私も把握できておりませんので、何か分かる数字につきまして、また後ほど出させていただけたらなと思います。以上です。

○委員長（西田 真） ありがとうございます。やはり地域的にバランスいいですか、どこにもそういう縁むすびさんがおられることが必須条件だと思いますんで、その縁むすびさん活用されて、いろんな出会いの創出ということが大事かなと思っています。最初は結構縁むすびさんもおられたと思うんですけど、課長が言われたように幽霊会員さんみたいな方がたくさんおられて、実際には動いてないというのが実情だと思いますので、その人たちも新たな人も含めて、ちょっと活動していただけるような、いけるような、ちょっとサポート的なことも必要だろうと思うんですけど、その辺いかがでしょうか。

地域づくり課、宮田課長。

○地域づくり課長（宮田 裕史） まさに縁むすびさん、先ほど森垣委員からもご指摘いただいておりますけれども、やはりコミュニティの掘り起こしも含めまして、一番どこに独身がいるかというの分かっているのは地域の方かなと思いますので、しっかりとコミュニティ等の協力もいただきながら、広く隅々までということになるかどうか分かりませんが、あらゆる地域から縁むすびさん出ていただいて、若い方の掘り起こし、そして未婚者同士のセッティング等につながるように取り組んでいけたらなというふうには、今後進めていけたらというふうに思っております。以上です。

○委員長（西田 真） ぜひよろしくお願ひしたいと思ひますし、ちよつとくらし創造部の谷岡部長からも答弁いただけたらと思ひますが、いかがでしょうか。

くらし創造部、谷岡部長。

○くらし創造部長（谷岡 慎一） すみません、ちよつと質問を取り損ねましたけれども、なかなか今、私も含めてですけども、どういふ所在をされてるのかって、私も分からないので、そこはまた調べてお答えさせてもらひたいと思ひます。ただ、いろん

縁があって、多分縁むすびさんに登録をいただいているので、そういった方を大事にしながらでもありますし、また、なかなか今、新規でたくさんの方が増えてるという状況では多分ないと思うので、そこも含めてこの事業の在り方自体も検討したいなと思います。以上です。

○委員長（西田 真） よろしくお願ひしたいと思ひます。

ほかにありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（西田 真） ないようですので、以上で結婚支援の現状については終わりますが、この際、当局から何か発言はありませんでしょうか。よろしいですか。

ここで暫時休憩します。

午前10時13分休憩

午前10時18分再開

○委員長（西田 真） 休憩前に引き続き再開いたします。

次に、委員会の運営方針についてであります。委員会重点調査事項、Side Books上の本日のフォルダーの中、次第等の資料4ページ目に配信しております。前回委員会で結婚支援について、子育て支援に関する事項のところに加えることを決めていただきましたので、結婚支援・子育て支援に関する事項と改めております。ご意見はございませんでしょうか。

暫時休憩いたします。

午前10時18分休憩

午前10時19分再開

○委員長（西田 真） 委員会を再開いたします。

それでは、当委員会の重点調査事項としてこのように決定させて、ご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（西田 真） ご異議がないようですので、そのように決定させていただきます。

それでは、次回の委員会で特に調査を進めていき

たい項目があればご協議願ひたいと思ひます。暫時休憩いたします。

午前10時19分休憩

午前10時20分再開

○委員長（西田 真） 会議を再開いたします。

それでは、次回の委員会は新年度になりますので、事務概要の説明ということもありますので、それを聞いてからということで、また進めたいと思ひますけど、ご異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（西田 真） それでは、そのように決定させていただきます。

その他として、委員の皆様から何かありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（西田 真） ないようですので、以上をもちまして委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時20分閉会
